

## 辰巳菊子さんが、LCA 日本フォーラム功労賞を受賞

NACS 創設期からのメンバーであり、理事でもあった環境委員会初代委員長の辰巳菊子さんが、LCA 日本フォーラム功労賞を受賞されました。

<https://lca-forum.org/commendation/>

この賞は、LCA（ライフサイクルアセスメント）に関わる優れた取り組みを顕彰し、「製品のライフサイクルから環境負荷削減に取り組む企業、組織、研究者を応援する」ことを目的として 2004 年に創設されたもので、功労賞は歴代、LCA 分野を切りひらいてきた研究者や先駆的な取り組みを行ってきた企業の方が受賞されてきました。消費者として表彰されたのは今回が初めてとのことです。



辰巳氏は 2000 年ごろから、経済産業省等において、LCA に関連する ISO 国内委員会や、カーボンフットプリント（CFP）の推進・検証のための委員を務め、消費者の視点から意見を述べるとともに、NACS では消費者に向けた発信にも力を入れてきました。

NACS 環境委員会の活動のキーメッセージ「商品の一生を知ろう」は、この LCA の考え方をわかりやすく消費者に伝えるために、辰巳委員長のもと、委員会内で喧々諤々議論の上生み出した言葉です。

2010 年には小冊子「私たちの暮らしはすべて世界につながっている～商品の一生を知ろう～」を発行し、各地でワークショップを実施するなど普及活動を展開してきました。最後のページには、SDGs やエシカル消費が広く知られるようになった現在も変わることはない考え方とスタンスが記載されていますので、ぜひご一読ください。

[http://nacs.or.jp/kankyo/study/leaflet\\_1003\\_2.pdf](http://nacs.or.jp/kankyo/study/leaflet_1003_2.pdf)



2 月 1 日に都市センターホテルで開催された表彰式では、功労賞の講評で、経済産業省の CFP 制度試行事業での功績が紹介されました。これは、未踏科学技術協会、グリーン購入ネ

ットワーク（GPN）と連携し、NACS 各支部の方々の協力も得て取り組んだ、CFP 理解促進のためのワークショップ企画や環境教育リーダー育成講習会などが評価されたものです。

受賞のスピーチで、辰巳氏は

「これらの活動は NACS という組織や、環境委員会という仲間があつてのものであり、様々にご縁をいただいたみなさんと共に頑張った活動へのご褒美だと思っています」と述べ、関係者の方々に感謝の思いを伝えました。

環境と人にやさしいよりよい社会をつくりたい、そんな個人の思いが集まって活動が生まれ、NACS という組織の力があわさって活動が広がり、社会を動かす力になっていく。そのような取り組みをこれからも生み出し続けられる NACS でありたい、そんな思いを強くした一日でした。

（報告者：環境委員会担当理事 村上千里）